

情報モラル教材(2019年 中高生向け) コンテンツ内容一覧

話数	タイトル	テーマ	主役の性別	機器	事項のあらすじ	解説の内容等	指導したいこと 気付かせたいこと
第1話	インターネットの情報は正しいの?	インターネットの情報の信頼性	男子	スマートフォン等	【題材:誤った情報の拡散】 ●SNSやいろんなニュースサイト、まとめサイトなどで様々な情報を仕入れ、まわりの友人に広めていた。 ●しかし、中には嘘や間違っている情報も多く、次第に友人から呆れられ、信頼されなくなりました。	●インターネット上には様々な情報が溢れており、中には嘘や間違いもある。 ●正しい情報なのか、信頼できる情報源なのかを見極めることが大切。 ●情報に振り回されず、上手にインターネットを使う。	●1つの情報源だけで判断するのは非常に危険であるので、新聞、テレビ等、複数の異なるメディアで確認する姿勢を育む。
第2話	無料の動画視聴サイト	著作権	男子	ノートPC等	【題材:違法ダウンロード】 ●無料で、だれでも使えるサイトに、映画がアップロードされていた。 ●その中には、公開直後で自分が見たかった映画もあったので、ダウンロードした。	●映画やTV番組、コマーシャル等の映像には「著作権」があるので、勝手にコピーしてはいけない。 ●違法にアップロードされたものと知りながらダウンロードすることも違法である。	●「身の回りのもの」では範囲が広いので、今回は動画関係に範囲を縮小する。 ●違法にアップロードされた動画を見るだけなら、法律上罪に問われることはないかもしれないが、罪にならないからといって許されることではない。
第3話	個人情報を守ろう	個人情報	女子	スマートフォン等	【題材:写真アップロードや投稿内容からの個人情報漏えい】 ●名前や住所は伏せていたのに、個人を特定された。(〇〇に住んでる××ちゃんだよ、などのメッセージがきた) ●アップロードした写真(友達と学校で撮影したものなど)と投稿内容から、名前、住んでいる場所、学校名などが漏れた。	●SNSなどは、友達だけに公開する設定であったとしても、投稿内容が簡単に拡散されてしまうことがある。 ●つい取り扱いがルーズになりがちだが、複数の写真から個人を特定することは難しくない。 ●自分が気をつけても、友人経由で漏えいすることもあるから注意する。	●写真等の情報は、たくさん集まると思ってもいかなかった情報が浮かび上がることがある他、位置情報が登録された写真はたった1枚だけでも問題発生に繋がる要素を持っているので、その取り扱いに気をつけるべきである。
第4話	インターネットで知り合った人	ネットで知り合った人と直接会うことの危険性	女子	スマートフォン等	【題材:SNSなどで知り合った人と安易に会うと危険である】 ●(Twitterのような)SNSでよく話す、趣味が合う年上の同性と実際に会う約束を交わした(趣味のイベント、ライブなどで) ●実際に会うと、性別やプロフィール写真とは全く異なる異性(男性)だったので、その場から立ち去った。	●ネットを介して優しく接してくれていても、それが本当の姿とは限らない。 ●「会おう」「写真を送って」などの言葉にはだまされないようにする。 ●もし送った写真をネット上に拡散されたら、二度と削除できない。 ●困ったらすぐに、信頼できる大人に相談する。	●危険な目に遭った事例よりも、そのままだと危険な場面に展開するかもしれないということを早めに判断することが大事であることを生徒に考えさせる。
第5話 その1	いきすぎたイタズラ	なりすまし	中学生男子	ノートPC等	【題材:他人になりすます】 ●友人から借りたSNSアカウントで、インターネット上に嘘や誹謗中傷を書き込んでいた。 ●「ネットならバレないだろう」という気持ちがあった。 ●しかし、記入内容やアクセスログ等の情報から個人を特定されてしまった。	●インターネット上の情報から個人が特定できる場合がある。 ●やっつけはいいけど、インターネットでも現実でも同じであることを忘れない。 ●もし自分が被害者になったら、すぐに信頼できる大人に相談する。	●パスワードが流出する他、自分もパスワードの取扱いを疎かにしていないか注意させる。
第5話 その2	いきすぎたイタズラ	無責任な情報発信	高校生男子	スマートフォン等	【題材:情報発信の責任、社会の影響の自覚】 ●友人と悪ふざけをしている行動を撮影した写真や動画、嘘の内容をインターネットの掲示板へ投稿した。 ●その内容が、たくさんの人を不快にさせたり、人の人生にまで迷惑をかけてしまったりした。	●SNSの投稿内容が、不特定多数の人に影響を与えることがある。 ●投稿した内容が拡散したら、自分の力で削除することは非常に困難である。 ●やっつけはいいけど、インターネットでも現実でも同じであることを忘れない。	●人物を撮影する際は、その人の顔が写らないようにする等、個人が特定されないよう配慮することも大切である。 ●投稿された立場の者がどんな気持ちになるか、『相手の気持ちを考えて行動する』姿勢を育む。
第6話	コミュニケーション・トラブル	思いやり	女子	スマートフォン等	【題材:無料通話アプリ(イメージはLINE)のグループトークを使った仲間はずれ(ネットいじめ)】 ●すぐに反応がない(既読がつかない)友達に怒り、友人のグループで悪口を言った。 ●その結果、友達と言い争いになったり、気まずい雰囲気となった。	●相手にも生活やベースがあることを理解し、急いでいるなら電話したり直接話すなど、メッセージアプリにだけ頼らない。 ●相手の気持ちになって、メッセージを投稿する前に読み返す。	●自分が確認できない場所で悪口を投稿された立場の者がどんな気持ちになるか、『相手の気持ちを考えて行動する』姿勢を育む。
第7話	インターネットを使うときのルール	インターネットを使う時間帯、使用	女子	スマートフォン等	【題材:スマートフォン中毒】 ●無料通話アプリで友達と長時間会話している他、SNSやゲーム、動画などで、四六時中ずっとスマホを手に入れている。 ●勉強の合間にも、電話やメールが来たらすぐにスマートフォンを触ってしまう。	●利用ルールを決める。 ●スマートフォンの利用はメリハリをつける。 ●いつもスマートフォンをいじっていないか振り返る。	●生活習慣が乱れる問題に関しては小学生で取り扱ったため、中学生や高校生は『学力低下』を意識させるような内容にする。 ●「スマートフォンがダメ」ではなく、学習時間と娯楽時間をきちんと区別できる態度を身に付けさせる。
第8話	インターネットネットゲーム	プロフィールの詐称課金コンテンツ	男子	スマートフォン等	【題材:ソーシャルゲーム(スマホ)での課金】 ●課金せずにソーシャルゲームを楽しんでいたが、友達と競っているうちに強いキャラやアイテムが欲しくなった。 ●未成年だと課金に制限があると友達に教えられ、年齢を20歳以上と偽って登録し、繰り返し課金した。	●インターネット上ではお金をつかっている感覚が薄くても、普段の買い物と同じであることを忘れない。 ●ほとんどのゲームは年齢による金額制限があるが、年齢を偽っている場合は適用されず、満額支払わなくてはならない可能性が高い。 ●アイテム購入や課金したいときは、保護者に相談する。	●自分自身の意志で個人情報を設定・変更できるという点で、小学生とは扱い方が異なっている。 ●有料コンテンツを買い取くなるような仕掛けがたくさんあるので、きちんと節度を守る強い意志を身につけさせる。

情報モラル教材(2019年 中高生向け) コンテンツ内容一覧

話数	タイトル	テーマ	主役の性別	機器	事項のあらすじ	解説の内容等	指導したいこと 気付かせたいこと
第9話	チケットの転売はいけないの？	チケットの転売	女子	スマートフォン等	<p>【題材:転売チケットの購入】</p> <p>●チケットが取れなかった公演にどうしても行きたくて、親に頼んでオークションでチケットを買ってもらった。(定価の倍以上であることをイラスト内で示す。)</p> <p>●当日、「転売チケットである」という理由で中に入れず、結局見ることができなかった。</p> <p>●後日、転売が問題になっておりアーティストも迷惑しているというニュースを見て、さらに落ち込んでしまった。</p>	<p>●チケットを転売したり、それを購入したりすることで、多くの人に迷惑がかかる。</p> <p>●高額な転売チケットは、違法の可能性もある。絶対に買ってはいけない。</p> <p>●自分が誰かに譲るときも、定価でやり取りする。</p>	<p>●運営側の判断で転売チケットでの入場が規制される動きがあることも伝える。</p> <p>●運営側が出品者にも何らかのペナルティを与える場合があることも伝える。</p> <p>●転売目的でチケットを買い占めることが、本当にほしい人の手に入らず、不当に釣り上げられたチケットを買わざるを得ない状況になっていることに対して、どう行動すればよいか考えさせる。</p>
第10話	フィルタリングで何を守ってくれているの？	フィルタリングの機能	男子	スマートフォン等	<p>【題材:フィルタリング】</p> <p>・「つながらないサイトが多くてみんなとゲームができない」と保護者に頼み、フィルタリングを解除してもらった。</p> <p>・その結果、ポップアップが消えなくなったり、大量のダイレクトメールが来るようになってしまった。</p>	<p>●フィルタリングは、以下のような機能がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害サイトから守る。 ・個人情報を守る。 ・犯罪から守る。 <p>●自分を守り、安全・安心を与えてくれるものであると認識することが大切。</p>	<p>●フィルタリングの役割について理解させる。</p> <p>●フィルタリングを適切に利用することで、自分自身を有害サイトから守るという意識を持たせる。</p> <p>●生徒と保護者がルールや利用目的を話し合った上でフィルタリングを設定できる力を育む。</p>
第11話	ウイルスに感染してしまったら？	添付ファイルからのウイルス感染	男子	スマートフォン等	<p>【題材:メールからのウイルス感染】</p> <p>●題材:メールからのウイルス感染</p> <p>●知らない人から送られてきた添付ファイルを開いてから、スマートフォンの調子がおかしくなった。</p> <p>●大量の迷惑メールがきたり、動きが遅くなったりするようになった。</p>	<p>●スマートフォンにも、ウイルス対策ソフトをインストールし、きちんとアップデートしておく。</p> <p>●心当たりのない添付ファイルは絶対に開かない。</p> <p>●アプリやサイト閲覧から感染することもあるため、十分注意する。</p> <p>●感染したかもしれないと思ったら、大人にすぐ相談する。</p>	<p>●電子メールの添付ファイルは、ウイルス感染の経路として最も一般的であることを理解させる。</p> <p>●セキュリティ対策ソフトをインストールすることはもとより、パターンファイルのアップデートも忘れない。</p> <p>●添付ファイルを開いた後に「あやしい」と感じたときは、パソコンをネットワークから外し、速やかにセキュリティソフトでスキャンできる態度を育む。</p>
第12話	ネットオークションやフリーマーケットアプリでトラブルにあったら？	情報の信頼性	女子	スマートフォン等	<p>【題材:フリマアプリでの購入】</p> <p>・フリーマーケットアプリでTシャツを購入したが、入金後いくら待っても連絡がない。</p> <p>・2週間以上経ってから品物が届いたが、汚れていて写真とまったく違う状態。</p>	<p>●フリーマーケットアプリなどを使う場合、情報の信頼性をしっかり確認する必要がある。</p> <p>●出品者の評価、商品の説明文や写真などを大人にも確認してもらうこと。</p>	<p>●中古品の販売形態として、出品者が価格を事前に決めるフリマアプリでのトラブルが社会問題になりつつある。主に個人が出品者となるため、商品のやりとりで出品者や購入者共にトラブルに遭う可能性があることを理解させる。</p> <p>●入手困難な希少品を落札する場合は、特に注意が必要である。出品者の評価を確認し、エスクローサービスを利用することも重要であることを知らせる。</p> <p>●フリマアプリでの商品の取引は、保護者を通じて行うべきであるが、万トラブルに遭ったときは、サイトの運営先への問い合わせや消費者センターに相談する等の手段を取ることができるとの態度を育む。</p>
第13話	SNSでの不適切な情報の発信	SNSからの情報発信	男子	スマートフォン等	<p>【題材:SNSでの不適切な情報発信】</p> <p>●友人と遊んだ日の写真を、シェアする目的でSNSに公開する。(写真だけなら、個人情報に被害は無いと思っている)</p> <p>●翌日、写真に写っていた友人のうち2人に「写真を勝手に載せるな」と怒られる。(怒る理由が分からない友人もいる)</p> <p>●主役は、なぜ怒られるのか釈然としていない。</p>	<p>●ネット上にアップできる情報、できない情報は一人ひとり異なる。</p> <p>●SNSに写真を公開するときは、写っている本人に許可を得なければならない。</p> <p>●SNSの情報は不特定多数の目に触れるため、個人情報の漏洩にも繋がりが危険である。</p>	<p>●個人情報さらしてはいけない、ということは十分分かっているという前提の上で、「良かれと思ってやった」友達しか見ないと思ったという気のゆるみ、甘い考え方が問題に発展するということを認識させる。</p> <p>●健全なSNS利用はどうあるべきか考えさせる。</p>
第14話	SNS依存にならないために	SNS依存	女子	スマートフォン等	<p>【題材:SNS依存】</p> <p>●帰宅後はスマートフォンをリビングに置き、勉強中は触らないように気をつけている。</p> <p>●休憩中に見たスマートフォンには通知がたまっており、処理できなかった連絡のことが気にかかって勉強に集中できなくなる。</p> <p>●つい、スマートフォンに触ってしまい家の人に怒られてしまう。</p>	<p>●SNS依存の症状について説明する。</p> <p>●友達との連絡以外にも、生活には大切な時間がある。</p> <p>●自分でスマートフォンの使い方を工夫したり、友達にも、連絡の時間を伝えるなどルールを共有することで、自分のペースでSNSを利用できるようにする。</p>	<p>●一日の中でSNSに費やす時間がどれほどなのか、振り返らせる。</p> <p>●SNSに依存する原因について考えさせる。</p> <p>●お互いの時間を尊重し合うためには、SNSとどうつきあっていけばいいか班で考えさせる。</p>

情報モラル教材(2019年 中高生向け) コンテンツ内容一覧

話数	タイトル	テーマ	主役の性別	機器	事項のあらすじ	解説の内容等	指導したいこと 気付かせたいこと
第15話	オンラインゲームがやめられない	ゲーム依存	男子	スマートフォン等	<p>【ゲーム障害】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オンラインゲームに熱中し、夜更かしが増えている。 ●家の人にも指摘されるが、ゲームを責められるとイライラして言い争いになってしまう。 ●ゲームを止めたいと思うが、結局やめることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゲームによって生活に支障をきたす「ゲーム障害」が問題になっている。 ●ゲーム時間が多くなっているときはプレイ時間の記録等で、利用方法を見直すことが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●WHOで疾病認定も受けた「ゲーム障害」の言葉についても紹介する。 ●毎日長時間ゲームをする習慣を作ってしまうと、ゲームが習慣化してしまい、ゲームに依存してしまうことを知る。 ●スマホ等で提供されるゲームの場合、その手軽さから習慣化されやすいことを知る。 ●「ゲーム依存」が起こらないようにするために、実践できることを考えさせる。(例)ゲームの時間を記録する等 ●ゲームに依存してしまっている原因についても考えさせる。(例)人間関係、現実逃避等
第16話	災害時のSNS利用	災害時のSNS利用	女子	スマートフォン等	<p>【題材:フェイクニュース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小さな地震に気付き、情報を確認していたところ、「近日中に大地震」というニュースを見つける ●驚いてSNSで拡散するが、「デマだ」として炎上してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットには「フェイクニュース」と呼ばれる悪ふざけ等で作られたニュースがある。 ●不安を煽る内容が多く、災害などの緊急時には拡散されやすい。 ●誤った情報を信じて動くことはとても危険なので、ネットのニュースに関しては、情報源の確認や、公式発表を必ず確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時のフェイクニュースが社会に対して大きな影響を及ぼすことについて知る。 ●どうしてフェイクニュースを投稿してしまうのか考えさせる。 ●フェイクニュースを投稿させないような世の中にするためには、ひとりひとりができるような行動を取っていけばいいのか考えさせる。 ●00000JAPANの存在や、正確な情報源について常に把握しておくことの重要性について知る。
第17話	ながらスマホ(自転車)+B20:G23	ながらスマホ(自転車)	女子	スマートフォン等	<p>【題材:ながらスマホ(自転車)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ある休日、片手でスマホの操作をしながら自転車をこいでいた主人公は、そのまま前を見ずに交差点にさしかかる ●前をまったく見ていなかったため、横断歩道を歩いていたお婆さんに気づかず、自転車でぶつかってケガをさせてしまった 	<ul style="list-style-type: none"> ●ながらスマホは、事故を起こしやすい非常に危険な行為。 ●自分だけではなく、周りの人を巻き込んでしまう(怪我させてしまう)ケースが増えている。その場合、加害者となってしまう。 ●特に、高齢者や障がいを持った人、幼児、妊婦などは命にかかわる事故になることも。 ●「自分は大丈夫」と思わないこと ●必要に応じて、歩きスマホ防止アプリや読み上げアプリの利用を考える(徒歩の場合)。 	<ul style="list-style-type: none"> ●危険な行為を知りながら、どうしてながら運転してしまうのか話し合う。また、その解決方法について考える。 ●道路交通法や条例でも明確に禁止されていることを知る。 ●軽はずみな行為で自分自身を傷つけるだけでなく、人命も奪ってしまい、重い罪を背負ってしまうことを知る。 ●目をつぶって運転しているという認識を持つ。
第18話	漫画の海賊版サイトへの投稿	著作権	男子	スマートフォン等	<p>【題材:漫画の海賊版サイトへの投稿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漫画の海賊版サイトを見ている主人公。違法と知っているが、たいしたことじゃないと思っている。 ●そのサイトで公開されている漫画の画像データを撮影し、SNS(Twitterのイメージ)で1話分全編公開すると、炎上してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●海賊版が無料なのは広告収入があるからで、そのお金は反社会的勢力の資金源になっている可能性がある。 ●漫画家などの著作権者が時間と労力をかけた作品を、正しくない方法で手に入れて良いのか考える。 ●正しい方法で作品を購入しなければ、著作権者や出版社への影響はもちろん、漫画文化そのものが途絶えてしまう可能性も。 ●動画や画像を投稿・拡散することは、海賊版を広める手助けをすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「無料で楽しめる場所」ではなく、「商品を無断で利用しトラブルを招く場所」であることを知る。 ●悪いことだと分かっているが、閲覧してしまうのはなぜか考える。 ●広告をクリックすると個人情報抜き取られてしまう危険性があることを知る。 ●海賊版サイトがなくなるということによって、出版社や漫画家を含めどのような影響があるか考える。
第19話	卒業記念ムービーと著作権	著作権	男子	スマートフォン等	<p>【題材:卒業記念ムービーと著作権】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●卒業記念のショートムービーを作ることになり、そのBGMを任された主人公。持っている音楽CDの曲を使うことにした。 ●できあがったムービーを卒業生全員にコピーして配ろうとしたところ、担任の先生に著作権法違反だと指摘された。 	<ul style="list-style-type: none"> ●楽曲には著作権がある。授業の一環であれば問題ない場合もあるが、それをコピーして配ったり、学校のホームページにアップしたり、コンテストに応募したりする場合は、著作権者の許可が必要。 ●フリー素材として配布されている楽曲でも、著作権は放棄されていないこともある。利用規約を確認し、違反しないように使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用する」場合に限り許可なく複製できるが、卒業記念ムービーを卒業生に配る場合は、「私的使用のための複製」には該当せず、著作権者の許諾を得る必要があることを知る。 ●市販CD等の音源を用いるときは、著作権とは別にレコード会社や歌手等への許諾も必要であることを知る。
第20話	アニメのキャラクターの著作権	著作権	女子	スマートフォン等	<p>【題材:アニメのキャラクターの著作権】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体育祭で、人気アニメのキャラクターを学級旗に描き、グラウンドに掲示することになった。 ●同じキャラクターを使って、クラスの紹介プログラムを作り、保護者に配布しようとしたところ、担任の先生に著作権法違反だと指摘された。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体育祭は学校行事なので、著作権のあるキャラクターであっても、生徒が自分で描いたものを学校の中で掲示することは問題ない。 ●ただし、全校生徒や来場者に配ることは、コピーする枚数が多すぎる点や、授業に直接関係ない人に対して配布する点などから、著作権者の許可が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校では、プラカードや学級旗等に例外的に使用が認められているが、体育祭等の教育活動を終えても常設的に展示するような場合は、無断使用の条件を満たさない可能性があることにも気をつける。

情報モラル教材(2019年 中高生向け) コンテンツ内容一覧

話数	タイトル	テーマ	主役の性別	機器	事項のあらすじ	解説の内容等	指導したいこと 気付かせたいこと
第21話	不当請求にあったら	悪質サイトと不当請求	男子	スマートフォン等	<p>【題材:悪質サイトと不当請求】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主人公は軽はずみな気持ちで無料の18歳未満閲覧禁止のサイトを覗いてしまった。 ●サイトに登録され、高額な料金が発生し、不安になりメールを送ってしまった。 ●3日以内に金額を払わなければ法的な手段をとると連絡が来るようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●軽はずみな気持ちで18歳未満閲覧禁止のサイトを覗かない。 ●無料サイトには危険なサイトがたくさんある。 ●相手方にメールを送るとアドレスがばれてしまい督促のメールが送られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●サイトにアクセスしただけでは、基本的に個人情報漏れることはないことを知る。 ●メールを送ったり電話したりすると相手に個人情報を知られることになる。 ●トラブルに巻き込まれたら大人や消費者センターに相談する。 ●無料サイトや年齢制限のあるサイトには危険が潜んでいることを知る。
第22話	風評被害	無責任な情報発信	男子	スマートフォン等	<p>【題材:情報発信の責任、社会の影響の自覚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主人公は店の前で騒いでいたら店員に注意された。腹を立て店を批判する書き込みをした。 ●その店で食中毒が起こったというわさがネットに広まった。 ●名誉を傷つけられたとして慰謝料などを求める訴訟を起こされてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNSの投稿内容が、不特定多数の人に影響を与えることがある。 ●「注意されたはらいせにいたずらをしただけ。」「こんな大事になるとは思わなかった。」では済まされない。 ●やってはいけないことは、インターネットでも現実でも同じであることを忘れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●匿名のSNS投稿でも個人を特定され、未成年者であっても法的措置をとられることを理解する。 ●事実と異なることを情報発信しない。また、情報発信することが相手に多大な影響を及ぼすことを理解する。
第23話	有名人への誹謗中傷	SNSによる誹謗中傷	女子	スマートフォン等	<p>【題材:SNSによる誹謗中傷】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主人公はテレビやネットでの言動が気に入らない有名人の悪口を匿名投稿した。 ●根拠のない悪口など嫌がらせがネットに広まった。 ●しばらくするとその有名人は芸能界から引退した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手方の言動に問題があると考えている。また、有名人は立場上、ネット上で批判されるのはしかたないと考えている。 ●悪意のある書き込み等は瞬く間に拡散する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●どんな事情があっても相手を傷つけるようなことは投稿は人権侵害である。 ●匿名のSNS投稿でも個人を特定され、未成年者であっても法的措置をとられることを理解する。 ●情報発信することが相手に多大な影響を及ぼすことを理解する。
第24話	インターネット通販のトラブル	ネットショッピングトラブル	女子	スマートフォン等	<p>【題材:ネットショッピングトラブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はインターネットでダイエットサプリ1ヶ月分を購入した。 ●1ヶ月分の代金を払い商品が届いたのだが、1年間は購入し続けなければならないと説明があり高額な料金を請求された。 ●キャンセルしようとしたが認められなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物をするとき返品、解約条件など説明を見ない。 ●親が購入商品について確認していない。 ●インターネット上には悪質なショッピングサイトがたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネットで商品を購入する際は必ず親の確認後に購入する。 ●通信販売にはクーリングオフ制度が適用されないため、事前に返品・解約の条件や販売事業者についての情報確認を行うようにする。 ●注文前に定期購入の契約になっていないか確認する。